

〈本郷キャンパス〉
 学校法人文京学園
 文京学院大学外国語学部・経営学部・
 人間学部・保健医療技術学部／大学院
 ／文京学院大学生涯学習センター
 〒 113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
 ☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
 文京学院大学文京幼稚園
 〒 113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
 ☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
 文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
 ／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
 〒 356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
 ☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
 〈駒込キャンパス〉
 文京学院大学女子高等学校／文京学院
 大学女子中学校
 〒 113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
 ☎03-3946-5301



令和4年(2022年)
 2月28日
 第774号
 発行
 学校法人文京学園
 http://bgu.ac.jp

大学

アカウンティングコンペティション 経営学部生が「審査員特別賞」受賞

経営学部の中島真澄ゼミナール「チームA」が、第6回アカウンティングコンペティションの学術的研究分野にて「審査員特別賞」を受賞しました。

アカウンティングコンペティションは、2016年に創設された会計分野における大学生の研究発表大会です。第6回を迎える本年度は、12月19日にオンラインにて開催され、全25大学、31ゼミナール、68チームがエントリーしました。本学からは、中島教授のゼミ生が3チームに分かれて参加しました。

中島ゼミ「チームA」2年生の角谷真生さんと池田翔真さんは「IFRS適用は、財務報告の質を向上させるか? : IFRS適用企業の実証研究」について発表し、「審査員特別賞」を受賞しました。角谷さんと池田さんから次のコメントが寄せられました。

角谷「荣誉ある賞を頂戴し、大変嬉しく思います。この荣誉は先輩や先生のご指導のおかげで、心から感謝申し上げます。また、日々の成果が実り、とても嬉しいです。今後も、皆様のお力添えを頂きながら努力し、来年は優秀賞、最優秀賞を頂けるよう精進いたします」

池田「『審査員特別賞』を頂戴し、誠に光栄に存じます。教授や先輩方にはご迷惑をおかけしましたが、いつも辛抱強く、そして温かくご指導いただいたお陰で受賞できました。この賞は、教授と先輩方のご協力があってこそこの賞だと思っております。これからも初心を忘れずに、来年の研究にも励んで参りたいと思います」



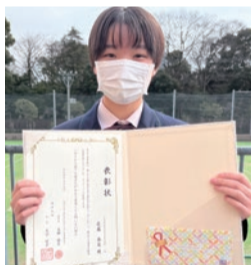
「審査員特別賞」を受賞した角谷さん(左)と池田さん(右)

中学

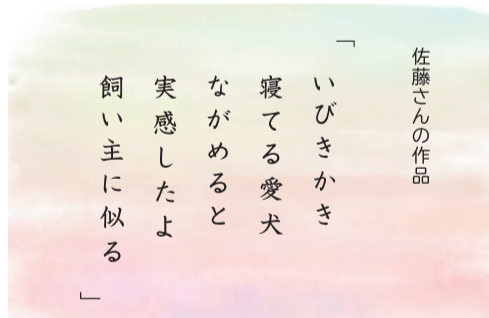
短歌入選

「第35回現代学生百人一首」(主催:東洋大学)にて、中学1年菊組佐藤杏菜さんの作品が入選しました。このコンクールは、全国の学生・生徒・児童から募った短歌の秀作を現代版百人一首とする企画で、今年も78,444首の短歌の応募がありました。

本校では、短歌の学習と関連して、自粛生活やオンライン学習が続く日々の中で、自分の気持ちを表現することや、他者との絆に思いをはせる機会になればと思い、今回初めて、中学生全員がこのコンクールに応募しました。当たり前の日常や学校生活、かけがえない学校行事までもがままならぬ日々、今回の短歌応募は生徒たちにとって少しでも前向きに取り組める学習活動になりました。



入選した佐藤さん



中高

チアダンス部 冬季大会で活躍 中学生は「第2位」入賞

1月15日、武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて、Dance Drill Winter Cup 2022「全国中学校・高等学校ダンスドリル冬季大会」(主催:特定非営利活動法人ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン)に、本校チアダンス部の中学生26名、高校生19名が出場しました。秋の予選は無観客でしたが、今回は観客入場の大会となり、多くの保護者が応援に駆けつけました。

中学生は3年生がよくリードし、リラックスしたよい演技ができ、SONG/POM部門Large編成で「第2位」に入賞しました。高校生も次の大会に繋がる演技ができました。

コロナ禍のため十分な練習時間の確保が難しく、今後も同等の状況が続くことが予想されますが、生徒たちは更に高みを目指し部員一丸となって取り組んでいきます。



「第2位」入賞の中学生メンバー

中高

カラーガード部 全国大会出場

「第5回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会」(主催:一般社団法人日本マーチングバンド協会)が、2月6日に帝京大学八王子キャンパスで開催され、本校カラーガード部は、トルフラッグ部門に出場し、演目「君が君であるために」を披露しました。人生に訪れる様々な困難を雨に例え、みんなで力を合わせれば雨だって怖くない、人は協力すれば何でもできるをテーマに掲げました。新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら今回は動画参加となりましたが、部員一丸となって練習に励んできた姿は、次に繋がる大切な経験となりました。



全国大会に出場したカラーガード部メンバー

じ競争に参加し、他の人
 これまでは全員が同
 うあるべきでしょう。
 だと考えます。では、求め
 られる改革の中身とはど
 うことこそ私たちの使命
 面を切り拓いていく力や
 考え方を身につけてもら
 うことこそ私たちの使命
 生、高校生たちに、自ら局
 ることになると今の中学
 台へ否応なく放り込まれ
 なるでしょう。そんな舞
 答が一つとは限らない、
 または答そのものが存
 在しない場面の連続とな
 なるとは限らない、そんな舞
 台へ否応なく放り込まれ
 ることになると今の中学
 生、高校生たちに、自ら局
 面を切り拓いていく力や
 考え方を身につけてもら
 うことこそ私たちの使命
 だと考えます。では、求め
 られる改革の中身とはど
 うあるべきでしょう。

現在、中学・高等学校
 で特に力を入れて指導し
 ている「探究力」と「英語
 力」の意義をご説明いた
 します。
 我が国では、未曾有の
 社会構造の変化に直面
 しています。超高齢化と
 それに伴う就業人口の
 縮小や地域コミュニティ
 の衰退とグローバル化の
 波。一方で、格差を是正
 するための世界的な取
 り組みSDGsの推進と
 第4次産業革命から誕
 生するSociety 5.0...
 これからは、このよう
 な社会情勢を背景として
 答が一つとは限らない、
 または答そのものが存
 在しない場面の連続とな
 るでしょう。そんな舞
 台へ否応なく放り込まれ
 ることになると今の中学
 生、高校生たちに、自ら局
 面を切り拓いていく力や
 考え方を身につけてもら
 うことこそ私たちの使命
 だと考えます。では、求め
 られる改革の中身とはど
 うあるべきでしょう。

GREEN SPIRITS

これから
 求められる教育

佐藤 泰正
 高等学校副校長

たちより少しでも上
 なることが求められて
 ました。また、満遍なく
 何でもそつなくこなすこ
 とが良しとされました。
 しかしこれからは、他の
 人たちが目を向けない
 ものに価値を見出し、周
 りと協働して課題解決を
 目指していくことが求め
 られるのです。因みに、
 それらを実行していけ
 る人たちには、共通して
 備わっている特性がある
 と言われています。即ち
 「好奇心、柔軟性」「実行
 力、推進力」「包容力、協
 調性」「明るさ、前向き
 な姿勢」「粘り強さ、や
 り抜く力」「ユーモア」な
 どです。
 こういった行動特性は
 「コンピテンシー」と呼
 ばれ、教科書力とは別の
 能力として認知されて
 います。こうして並べて
 みると、どれも以前から
 文京生の特長として、人
 口に膾炙してきたもの
 と重複しています。文京
 学院という学びの場そ
 のものが、生徒たちのコ
 ンピテンシーを育む環境
 として機能してきた証
 と言えるでしょう。実際
 に、教科書力以外の力を
 測る模擬試験の結果を
 見ると、近隣各校の中で
 本校のコンピテンシー分
 野は飛び抜けて高い数
 値を示しています。
 こうした新しい時代に
 対応するための素地の下
 探究力や英語力という、新
 しい世の中で必須となる
 「力」を身につけていけ
 いくのが文京学院の教育
 です。コロナ禍が落ち着き
 ましたら、中学・高等学校
 にお立ち寄りください。生
 徒たちが元気に活躍する
 様子を、ご覧いただけます。

中学

「クリスマスコンサート」初開催

12月18日、駒込キャンパスジャシーホールにおいて、中学生による「クリスマスコンサート」が開催されました。

同コンサートは、例年「合唱コンクール」として実施されてきた音楽科行事の代替案として初めて企画・開催されました。音楽の授業では、昨年度から大きな声で歌うことができなくなり、歌声の聞こえない授業はとてつもないものになってしまいました。そこで、新たにギターや鍵盤楽器による合奏へ挑戦。各学年3クラス混合でチームを作り、楽器の分担を決め、約2ヶ月間練習に励みました。

当日は、髪や楽器に飾ったクリスマスカラーのリボンで気分を盛り上げてスタート。サプライズでサンタクロースに扮した水上茂中学校校長からキラキラシールのプレゼントもあり、生徒たちは目の周りやおでこに貼って、メイクのように上手におしゃれをしていました。一生懸命演奏し、互いに拍手を送り、みんなで楽しみ、笑顔が溢れる1日となりました。



ギターに挑戦した生徒たち



クリスマスカラーで演奏を楽しむ生徒たち



高校

タイ王国との教育提携10周年記念式典開催

日本の文部科学省とタイの教育省が推進する教育提携の10周年を記念する式典が、12月20日にオンラインで開催され、タイ全土に12校あるタイ王国のプリンセス・チュラポーン・科学高校(PCSHS)と教育提携を結ぶ高等学校と高等専門学校が招かれました。本校からは、高校2年生理数キャリアコースの生徒47名が参加しました。当日の式典内で行われたノーベル物理学賞を受賞された天野浩氏による講演は、研究者の卵である生徒たちの心を揺さぶる内容でした。

2013年より本校とPCSHSでは、互いに生徒を派遣して科学と文化の両面で交流を深めてきました。渡航がかなわず手探りで始めたオンラインでの交流も、回を重ねる毎に内容が充実していきました。今後も両校生徒の向上心と探究心を高める交流を続けていきます。



参加した本校の生徒たち



熱心に講義を聴く参加者



中高

レンガの校舎がインター共用棟として歩き出しました

1月24日、この日からアオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)文京キャンパスが開校し、文京学院大学女子中学校高等学校インター共用棟への登校が始まりました。100周年を目前に控える本校にとっても新しいステージの幕開けです。

AJISと本校は、2020年の教育提携締結を皮切りに、部活動やOne day留学体験などを通して交流をしてきました。自ら課題を発見し、課題解決を図る探究活動に力を入れている本校が、AJISとコラボすることで生み出す教育効果に大きな期待が集まっています。



本校とAJISが新たな歩みの可能性を語る

BOOK INTRODUCTION 書籍紹介

『モビリティとことばをめぐる挑戦 社会言語学の新たな「移動」』



グローバル化、デジタル化の中で移動する人とことばの関係は多様性・流動性を深め、従来の人文社会科学のパラダイムでは捉えられなくなった。「モビリティ」とことばの現実を把握するにはどのような視点や方法論が求められるのか?新井准教授らがこの課題に取り組み、21世紀の社会言語学を追究する。

編著者: 三宅和子(東洋大学名誉教授)・新井保裕(外国語学部准教授) / ひつじ書房(2021年12月) / 3,200円(税別)

『バベルの塔の人々』



日米金融機関の統合を描いた本格経済小説。元証券会社勤務の山西准教授が日米双方の経営者・社員の思考・感情・行動を緻密に描き、重要場面の裏側を登場人物がインタビュー形式で語る「ポストモーテム」を各章に収録。報酬・権力をめぐる闘争、異なる企業文化・言語・価値観...。翻弄され、葛藤しながらも、進むべき道を見出す金融マンを描く長編小説。

著者: 山西均(外国語学部准教授) / 幻冬舎(2022年1月) / 1,800円(税別)

ひたむき・まえむき・おもむき
tomoちゃん

第79回

画: 美術部(高校) 垂久愛

